美艶牡丹布

江戸日本橋駿河町　松坂屋清兵衛

御膳中果化粧
法かけしをりぬの

○けぬ牡丹布は家傳の秘方にして他ふ類なし常これをうひ粧ひたい
半一きを白くしきれこれやうふしてれかれのあぶらをぬぐひつ
くしこれをやを出し裏いあせをとりてはぐしたるにきびあ
せぼ。ぼろぼろでこれその。一切はせぼをなくさむはよこれせるもこの
ぬのにてはぬぐひ粧ふべばうかあれども家風のいたなりぐうる
ほひをいぐしぐこれを光るこれいとひうくしるくばうかうくしるある
ことまことふ妙なり○物ひゆさんにばぬ出乃ありうくふと風
だちくぐちるまこうぬこれたてくこれをようそれひてるばふかそ
せをけぐしたふとこれごろ乃ぬのにちばぬぐひ粧ふべばうほきよ
ちうにしてこうけくしこれをやを出をば途中ちやげしやうこれ綱
法乃ふとうぬ乃なう○けをやうぎくこうひれた方。れしろいれの
ぬうねいば方ごのぬ乃にくいぬぐひこうれ粧ふべばうかれ乃あぶう
をこうばけしやうむくになくばるふとなくうくしるぶ
ふことぎめうなう
○けくこうぬのいうるかひをよくいだをこと才一乃こうふ
とこうゆくぐけたうひこを粧ふべばうかれ法やをよくしばうか
のあまふことなくしぐこうばうかうるこれこうるかひなこれ
法方ふあれおかくしてばやなくきれあくこれをのなうあさゆふ
けけやうあそぐされいばうこうぶくしばいのあくこれすてばうかあま
こあこようるをのなうこれふこうぬのうそれぬぐひあそぐさま
ひいばくこうるかひをいだをゆくばうかあまをいばを法ぐくし。
けこれををひくもばうかにあこうこうばくのこうけくしく
なること家傳乃秘方にして他ふ類なしこれ稀なるこうぬの。
はこうひこうくいた光しあそぐ法ぐくい

○けぬのくばこいくこあくこあくひ日にかしくこれをちひこをば。
むゆと火をいむ

江戸尾張町壹丁目
御免御藥調合所　本家　松田陸奥大掾製

美艶牡丹布　文庫10-8018-3
早稲田大学図書館蔵／Waseda University Library